

温暖化を止めよう！！

地球環境に学ぶサークル 中島 峯生

国連環境計画（UNEP）は、南極上空のオゾン層が2066年頃までに、1980年のレベルに回復するとの予測を発表した。地球全体を覆うオゾン層は、太陽からの有害な紫外線を遮断している。80年代に極端に薄くなったオゾンホールが南極で観測され、各国は「モントリオール議定書」に基づき、フロンなどの生産と消費を禁止した。その効果が出てきたのである。ペッテリ・ターラス世界気象機関事務局長は、「オゾン対策は気候変動対策の先行例だ」と指摘した。ウクライナ戦争問題等のマイナス要因はあるが、温暖化は人類共通の問題として捉えられている。

われら地球環境に学ぶサークルは、可能なかぎり幅広く温暖化の情報収集をし、発信を継続している。特に、2020年から続く広場の「環境問題シリーズ」は、今も継続掲載中である。①「第6次エネルギー基本計画案」へのパブコメ、②世界農業遺産をめざす「武蔵野の落葉堆肥農法」支援、③おさらい「COP26」のポイント、④身の回りでできる環境に優しい省エネの徹底について、⑤「もし、所沢市の農地全域にソーラーシェアリングを採用したら」、他。中でも「地球環境改善チェック」シートの2年連続の収集は、倶楽部の意識付になったと考えている。屋外では、カルチャーパーク・東部クリーンセンター、及び柳瀬荘黄林閣屋敷林保全活動見学を実施したり、諸問題の深掘りのため「グリーン／ウォッチ」市民版環境白書2021、2022、「レポート2030」等の読書会を実施。また市民会議の「所沢環境市民の会」の設立に参加している。

